

私たちは  
「神戸のコトバ」を取り入れた  
防災ゲームを製作しました!

プロジェクトリーダー  
渡部桂太郎



# D-PRO135°

## 明石高専防災団



@135\_d\_pro

facebook.com/d.pro135.e



### これまでの活動

Past Activities

#### D-PRO135°の発足と 災害メモリアルアクション KOBE への参加

明石高専生による防災組織 D-PRO135°の発足は昨年 7 月 21 日でした。

防災士資格を持った学生が、地域の防災活動などに貢献したいという思いや学内での防災意識の向上に努めたいという考えから、有志 9 名（機械工学科 3 名、都市システム工学科 5 名、建築学科 1 名）の学生により活動がスタートしました。

#### 防災ゲーム『SECOND HAZARD』の製作

8 月から本格的に活動を開始し、防災や減災などをより身近に感じてもらえるようにするため、防災ゲームの製作をすることに決めました。また、11 月には東日本大震災により甚大な被害を受けた福島県の浜通り地方を訪れ、復興に向けて少しずつ歩みを進める被災地の現状を目にしました。

所属人数は現在では 15 名になりました。

依然として少人数の組織ではあるものの、それぞれの学生が持つ能力を存分に発揮し、日々活動に励んでいます。



Disaster - PRevention Organization 135°

# このゲームについて

About the Game

災害時は身の回りにある、ありとあらゆるものが役に立ちます。

この『SECOND HAZARD』には、大きな震災を体験したことのない人達でも、災害を身近に考えて、その時何を使えばいいのかを自分で臨機応変に考える力や選択する力を身に付けてほしい、という私たちの思いが込められています。

また、実際に震災を経験された方に伺った話を基に盛り込んだ「神戸の知恵カード」には、被災時に役立ったアイテムと共に当時の経験談を記しています。

製作と同時に私たちも学んだたくさんの「神戸の知恵」。

ぜひゲームをしながら学び取ってください。

# SECOND セカンド・ハザード HAZARD

↓マップ配置の一例



# ルールの概要

About Rules

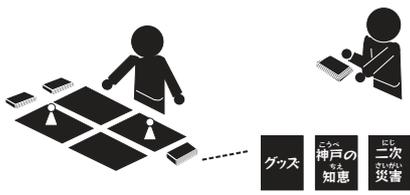
## 1. 準備 (1)

- ①マップボードを好きなようにセットする。
- ②川の両岸に道がある場所に、好きな番号の橋をセットする。
- ③「グッズカード」「二次災害カード」「神戸の知恵カード」をそれぞれシャッフルし、ウラ面を上にして、ゲームボードの横へおく。



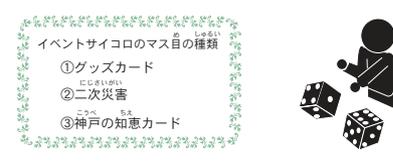
## 2. 準備 (2)

- ①スタート場所を決めて、自分のコマをおく。
- ②プレイヤー全員がグッズカードを3枚ずつもらう。
- ③じゃんけんで勝った人から順に、時計回りはじめる。



## 3. 避難開始!

- ①「進む用」と「イベント用」の2つのサイコロをふる。
- ②「防災倉庫」の敷地内に入ると、グッズカードを3枚もらえる。1度入ったことのある防災倉庫から、同じプレイヤーが再びもらえない。
- ③イベント用のサイコロは、出た目によって次の指示にしたがう。



## 4. イベント用サイコロの目について

- ①「グッズカード」を山札から1枚ひく。
- ②「二次災害カード」を山札から1枚ひき、カードの内容を読む。指示にしたがったら、カードは元の山札に戻す。
- ③もう1度サイコロをふり、再びこの目が出たら、「神戸の知恵カード」を1枚ひくことができる。



## 5. 二次災害発生!

- ①災害の発生場所が決まったら、そのマスに「災害マーカー」をおく。そのマスは「グッズカード」や「神戸の知恵カード」を使わない限りどのプレイヤーも通れなくなる。
- ②発生場所にコマがあった場合は、そのプレイヤーは1マス下がり、グッズカードを1枚山札の1番下にもどす。



## 6. 災害を乗り越えるには

- ①災害マーカーのマスは、「グッズカード」や「神戸の知恵カード」をプレイヤーの半分以上が納得する使い方をすれば、通れる。
- ②半分より少なかった場合は、マーカーの手前のマスでコマを止める。
- ③半分以上に納得してもらい、使うことができた「グッズカード」は山札の1番下にもどし、新しく【使ったグッズカード枚数】×2枚分のグッズカードをもらう。「神戸の知恵カード」は山札にもどす必要はない。



## 7. 「神戸の知恵カード」とは

- ①「神戸の知恵カード」は、カード内で示されたグッズなら何度でも使うことができ、使っても、なくならない特別なカードである。
- ②津波や土砂崩れにまき込まれ、スタートにもどされた場合には、このカードもグッズカードと一緒に山札へもどす。



## 8. 避難所へ到着!

- ①ゴールである避難所(公民館)にたどり着いたら上がり!

着順ボーナスでそれぞれ

- 1位 → +5枚
- 2位 → +3枚
- 3位 → +2枚
- 4位 → +1枚



- ②グッズカードの枚数で勝敗が決まる!
- ③グッズカードの枚数が多ければ、神戸の知恵カード3枚と交換できる
- ④ゴールに着いたらサイコロを振り、神戸の知恵カードのマスが出ればグッズカードが1枚もらえる。
- ⑤グッズカードの枚数が勝敗を決める。

## 製作担当一覧

全体統括	渡部桂太郎
ボードデザイン	松本拓実、松家雅大
ボード製作	東條翔、松尾彰太、篠原達也、村岡壮志、松本未来、土田晃平
災害マーカー製作	今井美佑、菅智子
二次災害・グッズカードデザイン	神足美友
神戸の知恵カードデザイン	中谷実穂子
カード製作	菅智子、多田裕亮、松家雅大
説明書デザイン	木村真悠
サイコロ製作	松尾彰太
QRコード・コマ製作	東條翔
ポスターデザイン	松本拓実
イラスト	多田裕亮、渡部桂太郎、今井美佑
SNS 運営	松家雅大、松本拓実
パワーポイント製作	渡部桂太郎